




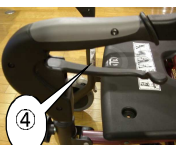
## ウォーキーメンテナンス用チェックシート

\*このチェックシートは福祉用具メンテナンス専門スタッフ向けです

### ●タイヤ

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 タイヤがスムーズに回転するか？		ベアリングに損傷がないかグリースが残っているか確認する ※グリースは、(SKF LGEP2)を使用してください
2 タイヤの磨耗きずや亀裂などの損傷がないか？		タイヤを交換してください ※タイヤ表面上の溝が無くなれば交換してください ※タイヤ交換時にはロッキングナットも交換してください(前輪)
3 固定ボルトにゆるみがないか？		後タイヤはネジ用接着剤ロックタイト242(青)を使用し、20Nmの力で絞めてください 前タイヤは固定ボルトの先端がナイロンナットを貫通していることを確認してください ※交換時も同様
4 フロントフォーク固定部にゆるみがないか？		フロントフォークは本体に60Nmの力で固定してください
5 フロントフォークにきずや亀裂などの損傷がないか？		フロントフォークを交換してください
6 フロントフォークの回転ベアリング部に緩み、変形や外れがないか？ (巻末のチェック方法を参照ください)		フロントフォークを交換してください
7 平らな地面で4輪タイヤ全てが接地しているか？		タイヤを交換してください。 ※フレームチェック項目2も確認してください。

### ●ブレーキ

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 ブレーキパッドが磨耗していないか？		ブレーキパッドを交換してください
2 ブレーキパットとタイヤの間隔が、1mmを超えていないか？		適切な間隔に調整してください ※左記値は、ブレーキ調整の目安です ※タイヤの磨耗が原因の場合があります。上記●タイヤ項目2を参照の上、必要に応じタイヤを交換してください
3 ブレーキ操作後、ブレーキパッドが元の位置に戻るか？		テンションロッドに錆びや汚れがないか確認してください
4 ハンドルブレーキを十分握ることができるか？		タイヤとブレーキパッドの距離を調整してください(当項目2参照)
5 ブレーキの掛かり具合は正常であるか？		タイヤとブレーキパッドの距離を調整してください(当項目2参照)
6 パーキングロックが正常に機能するか？		タイヤとブレーキパッドの距離を調整してください(当項目2参照) 解決しない場合はハンドルブレーキキットを交換してください
		※パーキングブレーキ点検方法については別紙を参照ください
7 ブレーキハンドル/ハウジングに損傷がないか？	ハンドルブレーキキットを交換してください	

●折りたたみ機能

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 折りたたみ防止機能が作動するか？		折りたたみ防止フックを交換してください
2 折りたたみヒンジ部分に破損はないか？		折りたたみヒンジを交換してください
3 折りたたみ防止フックにきずや亀裂などの損傷があったり、ゆがみなどはないか？		折りたたみ防止フックを交換してください

●ハンドグリップ

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 ハンドグリップに損傷はないか？		グリップを交換してください
2 ハンドグリップが剥離や浮きはないか？		グリップを交換してください

●高さ調節ねじ

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 高さ調節ねじが固定されるか？		高さ調節ネジを交換してください

●フレーム

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 フレームの塗装に損傷はないか？		ウォーカー専用タッチペイントで塗装してください
2 本体フレームに亀裂や変形はないか？		使用を中止し廃棄してください
3 ハンドルチューブに曲がりがないか？		ハンドルを交換してください

●座面シート

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 シートの上げ下げがスムーズか？		可動部にシリコンスプレーをしてください
2 シートに経年劣化等による破損・変形・変色等はないか？(表裏ともに)		シート交換してください

●背もたれベルト

チェック項目	写真	不良の場合のメンテナンス方法
1 背ベルトにきずや亀裂などの損傷がないか？ 背ベルト尖端左右(ハンドル連結部)に破損・変形はないか？		背ベルトを交換してください



移送及び保管時の注意事項

背ベルトに過度な力が繰り返し加わるとキズ; 割れ; 亀裂などに発展しベルト破断による事故につながる恐れがあります

\*移送; 保管の際、ベルトに過度な力が加わらないようベルトの上に物を載せたり、重ねたりしないでください

\*梱包する際は、必ず背ベルトを取り外してください



座面に座ったまま移動したり、人を座面に乘せたまま使用しますと、路面の状況により前輪部に過度な荷重が加わり、

フロントフォーク部が変形し転倒事故につながる恐れがありますので、このような使用はしないでください

\*出荷前及び返却された際には必ずフロントフォーク部に変形がない事を確認してください

[チェック方法]

①フロントフォークの回転ベアリング部に緩みや変形、回転時の異音などないか確認する

②70Kg程度の荷重を座面に掛けてフロントフォークが変形しないか確認する

## ラックヘルスケア株式会社

大阪: 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-2 TEL 06-6244-0636 FAX 06-6244-0836  
 東京: 〒108-0014 東京都港区芝343-16 KDX三田ビル11F TEL 03-5419-8050 FAX 03-5419-8051  
 九州: 〒862-0924 熊本市常山2-1-23 パークヒル常山 TEL 096-340-8101 FAX 096-340-8102

コードNO.2014.07

## ●ブレーキ 項目6 パーキングブレーキ点検方法について

パーキングブレーキがしっかりかからない（弱い力でも簡単にパーキングブレーキが解除される）  
このような状態になった場合・・・

→「上皿はかり」か「ばねばかり」を用いて「かかりぐあい」を点検してください。

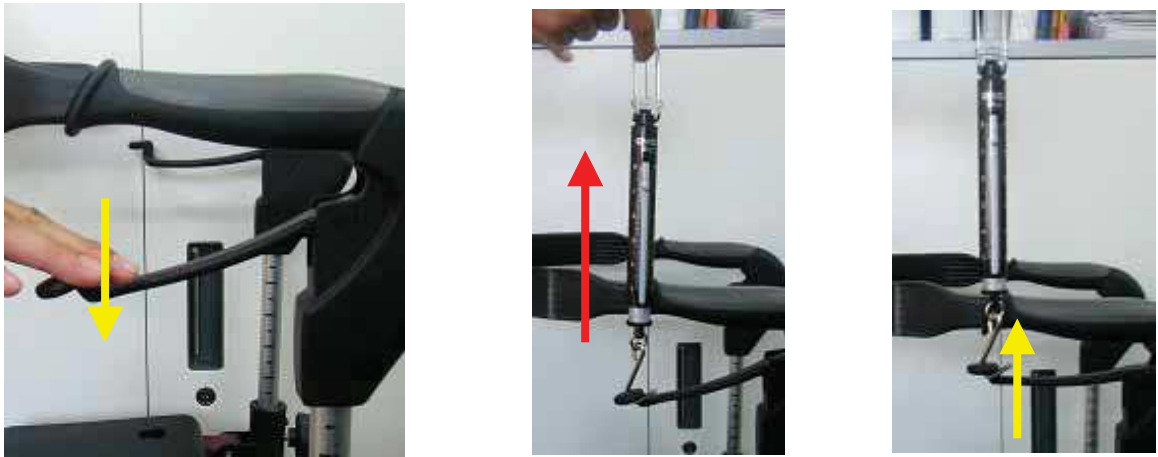
基準に満たない場合は「ブレーキハンドルキット」の交換を行ってください。  
基準値：400g（グラム）以上

### 点検方法

1. ブレーキレバーを押し下げてパーキングブレーキをロックさせます。
2. はかりを用いて上方に力を加え、**ロックが解除される『直前』**の負荷「g（グラム）」を計測します。

#### A：「ばねばかり」を使用する場合

ブレーキレバーの先端にばねばかりのフックを引っ掛けて上方に力を加えて計測します。



#### B：「上皿はかり」を使用する場合

上皿部分をブレーキレバーの先端に押し当てて上方に力を加えて計測します。



① パーキングブレーキをかけても勝手にブレーキが解除されてしまう

→ブレーキ内部のプラスチックパーツが消耗しています。

**ブレーキハンドルキットを交換してください。**

※ その他ご不明な点がございました際には、弊社営業担当者にお問合せ下さい。